

- イ 職業に関する学科を多様化し、社会の進歩と個人の能力、特性の伸長とに応ずるようにする。
 - ㉑ 普通科の就職コースを検討し、質的充実を図る。
 - ㉒ 農業に関する学科は、専業、兼業、地域の営農類型、農業の企業化、農業技術革新などに応ずるとともに性別に応ずる学科の再編をおこなう。
 - ㉓ 水産に関する学科は、技術革新に応ずる学科への再編をおこなう。
 - ㉔ 工業に関する学科は、工業化に応ずる学科の拡充および併設の解消をはかるとともに、女子の特性に応じた学科の新設を図る。
 - ㉕ 商業科は、流通機構の合理化、企業の近代化、事務の機械化などに応じた学科の拡充、女子の特性に応じた学科の新設をすすめる。特に併設の解消を図り商業科単独校とする。
 - ㉖ 家庭に関する学科は、社会の進歩と要請に応じた学科配置をすすめる。
 - ㉗ 社会の進歩とその要請に応じ、その他の学科を新設する。例えば、看護科、事務科、公務員科、理容科など社会の要請する学科が考えられる。
- ウ 県勢振興計画の新規学卒需要計画と、社会、個人の要請による県外就職を考慮し、各学科の募集定数を決定し、学習内容を卒業後の生活に有効にはたらくよう効率化を図る。

〔事業計画〕

ア 学科再編事業計画

事業名	事業主体	昭和40～45年度		昭和46～50年度	
		事業内容・事業量	事業費	事業内容・事業量	事業費
学科の転換、 学級増	県	転換学級数 114学級 家庭科へ転換 57 商業科へ" 18 農業科へ" 18 工業科へ" 12 体育科へ" 6 衛生看護科へ" 3 学級増 59学級 商業科 15 家庭科 20 農業科 6 工業科 3 水産科 3 体育科 6 普通科 6	千円 580,000	転換学級数 54学級 家庭科へ転換 18 商業科へ" 30 農業科へ" 6 工業科へ" 6 体育科へ" 6 衛生看護科へ" 6 普通科へ" 6 学級増 15学級 商業科 6 家庭科 3 農業科 3 工業科 3 水産科 3 体育科 3 普通科 3	千円 661,000

- イ 中学校の進路指導の拡充強化計画（「教育内容・方法の高度化と個別化教育」の項参照）
- ウ 普通科偏重、職業に関する学科軽視の風潮を打破するため、P.T.Aの理解を深める計画（社会教育の「P.T.A活動の助長」の項参照）